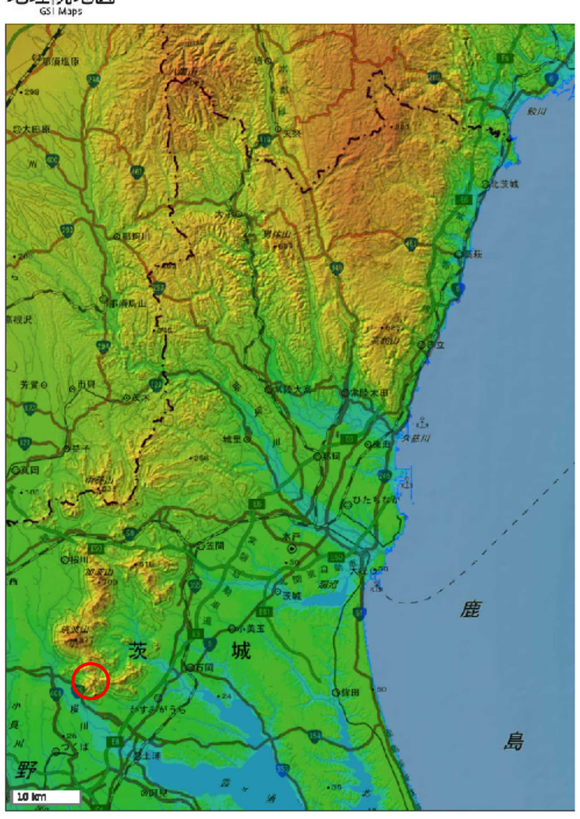
宝　筴　山

位置

○宝筴山は、つくば市と土浦市の境に位置しています。

地理院地図
GSI Maps



地理院地図：色別標高図

宝筴山（極楽寺コースから）

宝筴山から筑波山を望む

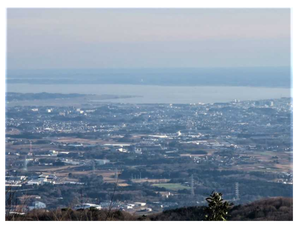
概要

○宝筴山（標高：461m）は、古くは三村山あるいは小田山と呼ばれ、山頂の宝筴印塔(高さ約２m）をはじめ、周辺には歴史的石造物が数多く残っています。

宝筴印塔

五輪塔

○東には霞ヶ浦、遠くに太平洋(鹿島灘)を望むことができます。また、南西には関東平野を一望でき、空気の澄んだ日には富士山が、北には名峰筑波山、その先には榛名山・赤城山・日光連山と360度のパノラマを楽しむことができます。

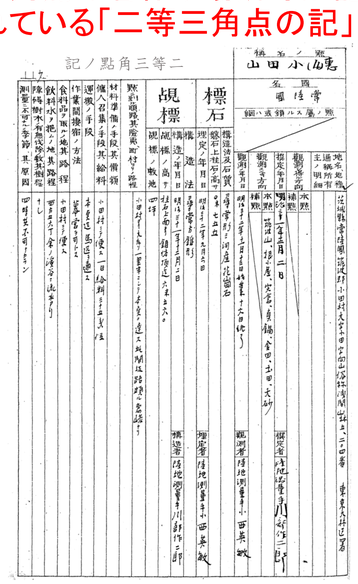

霞ヶ浦を望む

二等三角点の紹介

○宝筴山の見晴らしのよい宝筴印塔の囲いの中には、国土地理院の前身である陸地測量部が埋設した二等三角点「小田山」があります。

この二等三角点は「宝筴山」の標高を求めるのにも使われました。

三角点の名称や場所等が記されている「二等三角点の記」



二等三角点「小田山」

周辺の見学スポットの紹介

○平沢官衙遺跡（ひらさわかんがいせき）

- 平沢官衙遺跡は、茨城県つくば市平沢にある古代の官衙の遺跡であり、奈良時代・平安時代の常陸国筑波郡の郡衙跡で、国の史跡に指定されています。

遺跡全景

- 敷地内には正倉（高床倉庫）などが実物大で復元され、2003年4月に公開されました。このほか、建物跡を取囲んで北溝160メートル、西溝110メートルの大きな溝や柵列の跡が復元されています。

正倉（高床倉庫）

○小田城跡（おだじょうあと）

- 小田城は小田氏の居城とて知られています。鎌倉時代に小田氏の祖となった八田知家によって築かれた城です。1602年（慶長7年）に佐竹氏の秋田移封に伴って廃城となりました。

小田城跡

主な登山コースの紹介

①山口コース(１)
- 登り：3.5km、約２時間
- 下り：約１時間20分

②山口コース(２)
- 登り：2.0km、約１時間30分
- 下り：約１時間

③新寺コース
- 登り：3.2km、約２時間
- 下り：約１時間20分

④小田城コース
- 登り：3.2km、約２時間
- 下り：約１時間20分

⑤極楽寺コース
- 登り：3.0km、約１時間45分
- 下り：約１時間10分

⑥常願寺コース
- 登り：４.0km、約２時間10分
- 下り：約１時間50分

※①～③　平沢官衙遺跡案内所付近に普通車66台分の無料駐車場があります。

④～⑥　宝筴山小田休憩所付近に普通車約70台分の無料駐車場があります。

休日は混雑が予想されます。満車の際は小田の街中の市営筑波山麓小田駐車場をご利用ください。

宝篋山（ほうきょうさん）トレッキングマップ

注意

宝篋山は水郷筑波国定公園区域です。自然公園法に基づく第２種、第３種特別地域に指定され、各種行為が規制されています。また、コースや園地以外は国有林（保安林）または民有地となります。指定のコース以外へ許可なく立入りはできません。

【豆知識】

宝篋山頂の茨城県指定文化財「石造宝篋印塔」は、鎌倉時代中頃のもので、関東での真言律宗の布教の拠点であった極楽寺の裏山に位置しています。

宝篋印塔は、もともと宝篋印陀羅尼経というお経を納めた塔で、後に墓塔・供養塔などに使われました。内部には、このお経を納めれば、天災を免れたり、あの世で苦しんでいる先祖を極楽に導く事ができたり、この世で苦しんでいる人々、貧しい人々を救う事ができるなど、八つの功徳があると言われています。

宝篋印塔

出典：つくば市